

兵庫県におけるマルケシガムシの記録

脇村涼太郎・保科英人

マルケシガムシ *Cercyon* (*Cercyon*) *rotundulus* Sharp, 1884 はガムシ科ハバビロガムシ亜科の甲虫である。筆者の一人、脇村は兵庫県未記録と思われる本種を採集しているため報告する。



図 兵庫県産マルケシガムシ..

1♂, 兵庫県たつの市新宮町二柏野, 31. VIII. 2018, 脇村採集・保管.

さなぎ粉をベイトにした、深さ 30 cm程に埋めた地中トラップにより得られた。

本種(以下マルケシ)に非常によく似ている兵庫県未記録の陸生ガムシで、セスジケンガムシ *C. (Clinocercyon) aequalis*(以下セスジケン)という種がいる。セスジケンが兵庫県から今後記録される可能性を考えマルケシとの区別点を以下に記す。マルケシとセスジケンは亜属が異なるため、両者を確実に見分けるためには、上翅側片を腹側から見て、亜属の特徴で分ければよい。*Cercyon* 亜属の上翅側片は、上翅外縁に対して、直角に近い角度で曲がるので、中胸腹板と平行に近い状態になる。一方、*Clinocercyon* 亜属は、上翅側片がより鋭く、内部に折れ込むので、中胸腹板に対して、やや立ったような状態になる (Ryndevich, 2004; 2006)。

未筆ながら、写真を撮影していただいた田作勇人氏に御礼申し上げる。

○引用文献

Ryndevich, K. S., 2004. Review of species of the genus *Cercyon* Leach, 1817 of Russia and adjacent regions. I. Subgenus *Cercyon* (s. str.) Leach, 1817. *Cercyon lateralis* – group (Coleoptera: Hydrophilidae). *Annales Universitatis Mariae Curie-Skłodowska*

Lublin-Polonia, Sectio C, 59: 29-41.

Ryndevich, K. S., 2006. Review of species of genus *Cercyon* Leach, 1817 of Russia and adjacent regions. III. Subgenera *Clinocercyon* Orschmuntz, 1942 and *Conocercyon* Hebauer, 2003 (Coleoptera: Hydrophilidae). *Zoosystematica Rossica*, 15: 315-320.

(Ryōtarō WAKIMURA 東海大学生物学部)

(Hideto HOSHINA 福井大学教育学部)

加西市と明石市でタイワンタケクマバチを追加確認

柴田 剛

タイワンタケクマバチ *Xylocopa tranquebarorum* (Swederus, 1787) は、これまで兵庫県内では尼崎市(上森, 2018)、神戸市(吉田, 2021)及び明石市、小野市、加古川市(柴田, 2020)で確認されているが、このたび明石市の別の場所と加西市で新たに確認したのでここに報告する。

なお、本種の和名についてはタケクマバチへの改名が提唱されていると聞かすが、分類の見直しに伴うものではないようなので、既存情報との統一を図るため表題は



図 タイワンタケクマバチ♀, 加西市倉谷町, 2021年8月25日.

タイワンタケクマバチの名称を使用した。

【確認情報】

1 撮影：明石市明石公園

確認年月日：2021年6月14日

目撃：♀数個体

訪花植物：サンゴジュ(レンプクソウ科)

2 撮影：明石市大久保町八木(八木遺跡公園)

確認年月日：2021年8月4日

目撃：♀2個体

訪花植物：ハナツクバネウツギ(スイカズラ科)